



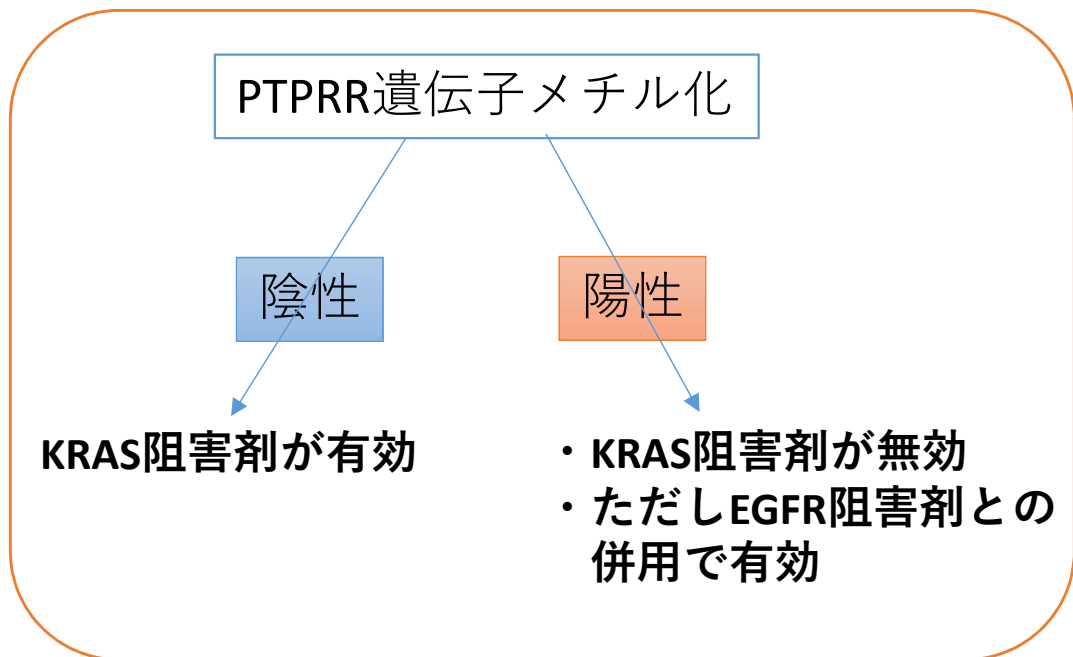
PTPRR遺伝子のメチル化の有無によるがん治療薬の効果予想

キーワード

肺癌、PTPRR、KRAS阻害剤、EGFR

【研究内容の概要】

PTPRR遺伝子のメチル化の有無をみることで癌の治療薬の効果が予測できる。



特徴／効果

- ・ KRAS G12C変異を有する肺癌ではKRAS阻害剤が標準治療薬。
- ・ PTPRR遺伝子を調べることで治療前にKRAS阻害剤治療の効果が予測できる。

利用／用途

- ・ 肺癌患者の治療薬の選択に利用できる。

知的財産権等情報

特許出願

特開2024-100747

論文等

医学部 医学科

内科学講座腫瘍内科部門

米阪 仁雄

URL

<https://www.kindai.ac.jp/meikan/1951-yonesaka-kimio.html>

連絡先：近畿大学 リエゾンセンター(KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

TEL：06-4307-3099 FAX：06-6721-2356

E-mail：klc@kindai.ac.jp

URL：http://www.kindai.ac.jp/liaison/